

市長室からこんにちは

NO.33

市民の皆さんと市長が直接話し合い、市政全般にわたり広く意見交換する目的で、昨年7月から12月にかけて「市政懇談会」を開催しました。

市民の方々からいただいたご意見の中で、対応できたことの一部を報告します。

【市民のご意見】平成25年12月2日 国東地区 市政懇談会

くにさき図書館のカウンター前にある帯出禁止書籍のゾーンが狭くて利用しにくい。厚くて重い書籍ですので、他の場所まで持ち運ぶのがたいへんです。

【市の対応】担当部署：くにさき図書館

カウンター前の帯出禁止書籍ゾーンについては、12月上旬に児童図書等を移動したり、テーブル・イスを配置したりして、その場で閲覧できるように工夫し、改善しました。



▲改善したくにさき図書館のカウンター前

問い合わせ 秘書広報課 ☎ 0978 - 72 - 1111(内線 204)

市長日記

市長日記

1月
19日

国東市長 三河 明史

皆さんは、「凍れる月影、空に冴えて、真冬の荒波、寄する大島。思えよ、灯台、守る人の尊とき優しき愛の心。」という歌をご存知でしょうか？

この歌は、学校唱歌で、確か小学校6年生の時に習ったと思います。私のとても好きな歌の一つです。ヘイス作曲「木枯らし途絶えて冴ゆる空より」の「冬の星座」も好きな歌ですが、美しい冬の夜空は、人を引き込む力があるように思います。

ある時、仕事で遅くなり、軽自動車を運転して、我が家の庭に到着しました。車から降りて、見上げた夜空。あくまで澄み渡り、果てしない天空は、正に、凍るような月明かりが、ギラギラと辺りを照らし、氷の結晶のような星が無数に輝いて、息をのむような美しさでした。

先日、夜遅く仕事が終わって、屋外に出た時、愛煙家の副市長が煙草に火をつけながら、「春の匂いがする。」とぼつりと似合わないことをつぶやきました。「この寒いのに春の匂い？」見上げた空は、凍えるような星空でした。

そう言えば、これも先日。私の家の開墾地の山側の用水路の工事を担当している知人が、うちの開墾地にある孟宗竹林を建設機械で掘った際、「もう筍が出てくる。」と言って三つほど持ってきてくれました。おそらく地上から何十センチも深い所で、春を待っていたのでしょう。まだ、竹の皮に包まれたままの小さい筍の子供でしょう。そのまま、ストーブの上で、火にあぶり、戴きました。サク、サクと柔らかく、何となく春を先取りしたような気分でした。

地上は、凍れる夜空ですが、地下では、春を待つ準備が着々とできているのです。外では、今夜もこうと寒風が吹きすさんでいます。

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.93



筑豊地区、炭鉱跡地等の フィールドワークに参加して

昨年11月、くにさき地区人権・同和教育協議会の視察研修で、福岡県筑豊地区の炭鉱跡や住友炭田のボタ山、飯塚市国際交流広場等のフィールドワークに参加しました。

最初に訪れた場所は、飯塚市営霊園でした。その霊園の一角を借り受け、日本とコリア両民族との交流の場として、国際交流広場が作られていました。またこの交流広場には、「すべての人類が恒久平和を願う発信地」と共に、強制連行による犠牲者の慰霊、今なお放置されたままとなっている遺骨を収集して追悼したい」という思いから、犠牲者の遺骨を納めている「無窮花堂」が建立されています。

筑豊の地に強制連行された韓国・朝鮮人は15万人。故郷に帰ることもできずに亡くなった犠牲者は、計り知れず数千人といわれています。二度にわたって強制連行された裴来善さんは、筑豊各地の寺院や墓地を協力者と廻り、遺骨82柱を見つけ、「犠牲者に明るい場所で安らかに眠ってもらいたい」とい

う願いで無窮花堂を建設し、多くの遺骨を安置しました。



▲奥にある建物が無窮花堂

「筑豊富士」として、現在も唯一在りし日の面影をとどめている住友炭田のボタ山は、3つの山が連なっています。石炭を選別して残ったボタが、3本のトロッコ線路、高さが124mにもなっています。このボタ山のふもとの草むらにも無縁墓地があり、強制連行犠牲者がこの場で火葬され葬られたともいわれています。



▲無窮花堂に納骨されている遺骨

徳香追慕碑は、1936年に麻生吉隈炭鉱で発生した坑内火災で犠牲になった29名(朝鮮人25人・日本人4人)の慰霊のため建立されました。犠牲になった朝鮮人が多いのは、危険な採掘現場の最深处で過酷な労働を強いられためです。この坑内火災で、燃え広がりました。そのことにより、尊い命が奪われました。

日本は、かつて戦勝国で植民地を持ち、第二次世界大戦では敗戦国となりました。戦争に勝つため、強制連行や強制労働等の人権を無視した行動がなされました。それを改めて認識し、深く反省しなければならぬと思います。今回の研修を通じて、多くの人権問題の解決に更に努めなければならぬと痛感しました。

(参考資料：NPO法人無窮花堂友好親善の会編)

※ボタ山：石炭の採掘に伴い発生する捨石等のことを、北九州地方の炭鉱ではボタと呼び、その集積場をボタ山と呼んでいる

☆ほのぼの家族 一人暮らしが救われる
☆もう少し生きてくれると嫁は言う

国東町 吉武 祥宏
安岐町 三笑亭耐楽(ペンネーム)

第7回国東市隣保館まつり「こころの川柳」入選作品

お知らせ

☆同和問題学習会(隣保館)

日時 平成26年2月24日(月) 午後2時

講師 別府市中部包括支援センター

主任 ケアマネージャー

管野 洋子 さん

演題 「福祉施設の問題について」

問い合わせ 国東市隣保館

国東市武蔵町古市1138番地1

☎ 0978-6811722